

令和 2.3 年度 養護教諭研究部会 研究計画（案）

研究テーマ 「養護教諭の専門的力量的向上を目指す」 ～ 主体的に健康課題の解決に取り組む子供の育成 ～

1 研究の目的

子供たちを取り巻く環境の変化は、現代的な健康課題を複雑化・多様化させ、子供の健康に関わる課題は学校教育全体の課題になっている。こうした現状に対応するために、養護教諭は「チームとしての学校」の中で、専門性を発揮し健康教育を総合的に推進することが求められている。

そこで、養護教諭一人一人の資質向上と、自他の健康課題に気づき、主体的に課題解決に向けて取り組む子供の育成を図ることを目的に本部会の研究を進める。

2 研究の方向

これまで本部会では、養護教諭の専門性を追究することを研究の柱として取り組んできた。加えて、これまでに高めた専門性を「チームとしての学校」の中で発揮し、子供たちが予測できない社会変化の中でも、現代的な健康課題に主体的に向き合い、地域社会や他者との関わりの中で、解決の方法を見出していける力を備えた子供の育成を目指してきた。専門的力量的を発揮するために、養護教諭一人一人の資質向上を図ることは元より、「チームとしての学校」の力を高め、健康教育を推進していく養護教諭として、他の教職員や家庭、地域の専門機関とも連携・協働していくための効果的な実践の在り方についても追究してきた。

こうした取り組みを踏まえ、今期の研究のまとめに当たる研究大会を WEB により開催する。前研究大会の課題であった研究協議の深まりについては、研究推進委員会を立ち上げ、研究の過程から同一課題の発表郡市が互いの研究への理解を深め、研究協議会の充実に向けて検討を重ねてきた。課題別の視点に基づく協議の中で学び合うこと、学びの中での気づきを協議の中で発信し共有することを通して、研究成果を自校の健康教育の実践に生かせるような分科会にしていきたい。また、発表郡市から得られる共通の学びを、個人としての実践、研究に反映させ、個人の研鑽と研究能力的の向上につなげたい。

部会運営に関わっては、世代交代が進む中、経験年数の異なる養護教諭同士が合同で研修を行うことができる「各郡市の養護教諭研究部会」の充実を図る。若手養護教諭は自身の実践と学びをつなげて、学校の課題に対応できる実践力を向上させる。ベテラン養護教諭は経験知を伝え、指導力やマネジメント力を向上させる等、各々の年代が専門的力量的を付けることを期待したい。各郡市の養護教諭部会の充実を図り、コロナ対応を含む喫緊の課題解決に向けた研修・交流、オンラインシステムを活用した学びの機会を増やす等、時代に応じた部会運営の在り方を検討する。

また、オンラインシステムやデジタル機器等を有効に活用して、研究大会の運営に関わる情報や分科会資料の事前配布等、事務の効率化を図り、働き方改革を踏まえた運営を行う。次の研究の方向については、これまでの協議内容を受け、次期の研究大会に向けた研究構想を示していく。

3 今年度の研究について

(1) 岐阜県養護教諭研究大会の開催

日時：令和 3 年 8 月 2 0 日（金） 13 時 15 分～16 時 00 分

方法：Web 開催

(2) 郡市養護教諭研究部会の充実

- ・喫緊の課題解決に向けた研修、実践交流等（郡市養護教諭部会での学び合い）
- ・郡市研究及び部会の充実に向けた実践交流（他郡市からの学び合い：代議員会）
- ・郡市研究報告を HP にて紹介（他郡市からの学び合い）
- ・「ようご」発行

(3) 来年度以降の研究構想

- ・研修会の企画、運営
- ・次期の研究大会に向けての協議

岐阜県養護教諭研究部会 研究のあゆみ

【研究テーマ】 養護教諭の専門的力量的向上を目指す
 (H30～R2・3年度) ～主体的に健康課題の解決に取り組む子供の育成～
 【目指す子供の姿】 自他の健康課題に気づき、考え、判断して、人とのかわりを通して課題解決のために行動できる子
 【目指す養護教諭の姿】 学校の教育活動全体を通じて、健康教育を推進する力を発揮する養護教諭

専門的力量的＝専門的な知識・技能 学び続ける力 連携・協働できる力

研究推進委員会
 (H30～)

研究大会に向けて、
 研究の推進及び調整を
 目的とする。

養護教諭の専門的力量的の向上・
 部会の活性化

令和2年度 研究大会(開催:令和3年度)

分科会【保健教育】【健康相談】【保健管理・安全管理】
 ポスター発表

テーマ:養護教諭の専門的力量的の向上を目指す
 ～主体的に健康課題の解決に取り組む子供の育成～

3年サイクルの集大成として、これまで郡市で取り組んできた研究実践について学び合う機会とし、その成果と課題を検証する。令和3年以降の研究につなげ、新たなる養護実践の創造をする。
 令和元年度 研修会 講演会

テーマ:子供たちが健康で心豊かに生きるために ～チーム学校における養護教諭の実践の在り方～
 演題:「チーム学校における養護教諭の実践の在り方」

講師:静岡大学 教育学部教授 鎌塚 優子 氏

研究視点:①チーム学校の一員として専門性をどのように発揮していくのか。
 ②教職員と保護者、地域住民を巻き込んだ健康づくりをどう取り組んでいくのか。

成果:チーム学校における養護教諭の役割や組織的対応の留意事項など具体的な実践例を元に学んだ。健康課題解決のために地域との連携・協働を意図的に仕組んでいくことで自校の実践を新たにしていこうと組織の中で発信力をもって健康教育を推進していくことの重要性を再認識した。

平成30年度 研修会 講義・実践発表

テーマ:健康と命を大切にする健康教育を推進するために ～がん教育を通して学び合う～
 研修視点:自校の健康教育に生かせること

成果:がん教育を切り口とした実践発表から、自校の健康教育につなげられる部分や生かせる部分を学んだ。さらに各郡市で意見を交流・共有する機会を設けたことで、専門性を発揮した自校の実践につなげることができた。

平成29年度 研究大会

演題:「教職キャリアの視点から養護教諭の未来を見据える」

講師:愛知教育大学学長 後藤ひとみ 氏

分科会【保健教育】【健康相談】【保健安全・安全管理】

ポスター発表

平成28年度 研修会 講演会

演題:「救急判断に必要なフィジカルアセスメント」

講師:岡山大学大学院 松枝 睦美 氏

平成27年度 シンポジウム

「養護教諭としての専門性を高めるために」

～教育の側面からとらえた食物アレルギー児童生徒への対応～

研究大会(平成17年・20年・23年・26年)

分科会 【保健教育】【健康相談】【組織活動】

研究大会(平成11年・14年) 分科会

【心】【保健室経営】【性】【保健指導】【組織活動】

平成21年度 全国養護教諭研究大会

岐阜県大会

研究の成果を全国へ発信し、県内養護教諭の資質向上の好機となった。

〈 部会の発展 〉

【研究テーマ】 養護教諭の専門的力量的向上を目指す
 ～主体的に健康課題の解決に取り組む子供の育成～

目指す子供の姿

自他の健康課題に気づき、考え、判断して、
 人とのかかわりを通して課題解決のために行動できる子

目指す養護教諭の姿

学校の教育活動全体を通じて、健康教育を推進する力を発揮する養護教諭
 ≪専門的力量的＝ 専門的な知識・技能 学び続ける力 連携・協働できる力≫

県養護教諭研究部会【事業計画】

**令和3年度 研究大会
 分科会・ポスター発表**

保健教育 健康相談 保健管理
 安全管理

テーマ：養護教諭の専門的力量的向上を目指す
 ～主体的に健康課題の解決に取り組む子供の育成～

令和元年度 研修会 講演会

テーマ
 子供たちが健康で心豊かに生きるために
 ～チーム学校における養護教諭の実践の在り方～
 内 容 講演会
 研修視点①チーム学校の一員として専門性をどのように
 発揮していくのか。
 ②教職員と保護者、地域住民を巻き込んだ健
 康づくりをどう取り組んでいくのか。

平成30年度 研修会

テーマ
 健康と命を大切に健康教育を推進するために
 ～がん教育を通して学び合う～
 内 容 講義・実践発表
 研修視点 自校の健康教育に生かせること

郡市研究部会【研究計画】

【研究の目的】
 主体的に健康課題解決のために行動
 できる子の育成

【研究の方法】
 養護教諭が、学校保健活動を基盤とし
 た専門的な知識・技能を生かし、よりよ
 い指導や支援、関係諸機関との連携・協
 働の在り方を探究する。

【研究の視点】
 ①指導計画と指導内容・方法
 ②連携・協働・体制づくり
 ③養護教諭の専門性と役割
 ④研究成果の検証と評価方法

郡市研究 研究テーマ 内容
 郡市の現状や課題に合わせて
 計画し、推進する。

個人研究
 研究テーマ 内容

3・4
 検証と
 発表の
 成果

2
 研究
 修正
 構想
 と本
 の実
 践

1
 研究
 構想
 立案
 と
 予
 備実
 践

「一人で、みんな」学び続け確実に力をつける養護教諭

【代議員会・常任委員会】

<会員情報共有>

- ・ホームページ更新
- ・研修会参加
- ・ようご発行

<調査研究>

- ・関連調査 など

<研究推進リーダー（代議員）の役割>

- ・各郡市における研究・研修の主導
- ・個人研究への協力と教示
- ・経験年数10年未満の養護教諭の指導・育成
- ・**郡市研究計画交流会への参加**
ねらい 県研究部会の研究構想、方向性を理解し
 郡市の研究との整合性を図る。
 郡市の特色を生かしながら研究テーマ
 の具現化のための具体的方策について
 提案する。

【研究推進委員会】

目的
 本研究部会の研究の
 推進及び調整
内容
 ・研究大会の研究協議会
 （分科会）の企画
 ・発表郡市の研究につい
 て